

## 注意



オプション品（照明・インターホン等）取付の為の穴明け加工の際、電動ドリルは振動機能の無いもの、もしくは振動機能をOFFにしてご使用ください。振動ドリルを使用しますと、キリ貫通裏部の破損・剥離、本体のクラック発生原因となる可能性があります。

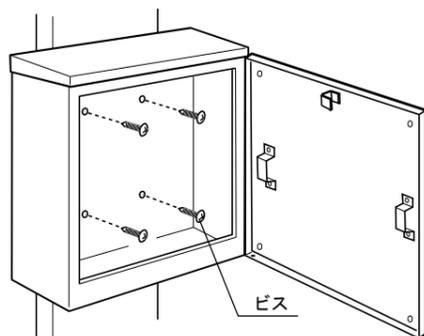
## 3

## ポストの取付

## ●kit, MARCATO BASE, kit poloの場合

1. ポストの取付け位置を決定し、プラグ用の穴を門柱本体にコンクリートドリルであけ、プラグを打込んでください。
2. ポストを門柱本体にビスで固定してください。

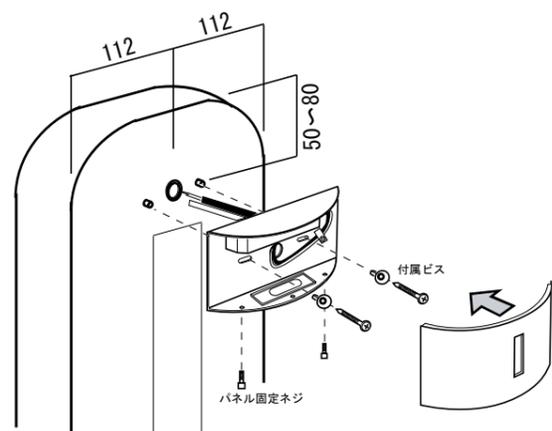
※ ポストを取付ける穴ピッチや、プラグを打込む穴の大きさは、別売のポストに同梱されている取扱説明書を参考にしてください。



## 4 照明の取付

※ 照明器具に同梱の取扱説明書に従って工事を行ってください。

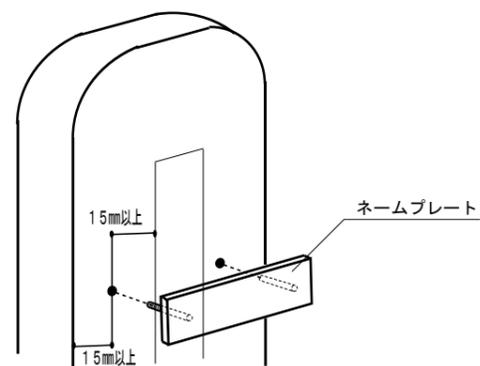
1. 照明の取付位置を決定し、コンクリートドリルで照明配線穴を任意の径で開けてください。
2. 配線穴の周りに水処理のシールをしてください。
3. 取付用アンカーPCプラグ（黄）を打つ位置を決定し、印を付け、Φ6コンクリートドリルで穴を開け取付用アンカーPCプラグを打ちこんでください。
4. 取付用アンカーに、照明器具付属の照明台座を取付けて下さい。
5. インターフォンと照明器具を結線した後、照明器具を照明台座に固定してください。



## 5 ネームプレートの取付

※ 別売のネームプレートに同梱されている取扱説明書に従い、取付けを行ってください。

注) PCプラグ等で固定する際の穴位置は、本体端部及びオーナメント凹み部の端から穴芯まで15mm以上離れた位置に設定してください。



本製品は改良の為予告なしに仕様等を変更することがありますのでご了承ください。



# ゲートウォール エlementゲート220 ガラスゲート220

お客様保存用

2017.4

## 施工・取扱説明書

トーション創作門柱をお買い上げいただきありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「施工・取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい施工とご使用をお願いします。

## 施工上の注意事項

1. 軟弱地盤でのコンクリート基礎埋め込み深さ、周囲巾は充分に取ってください。
2. 付属部材の取付けの際は締め過ぎにご注意ください。  
また、電動ドライバーをご使用の際は低速回転で締め付けてください。
3. 取付け完了後はネジ類の締め具合を再度ご確認ください。
4. 電気配線や結線工事は、電気有資格者にご依頼ください。
5. 本門柱セットにはインターフォンは含まれておりません。別途購入ください。



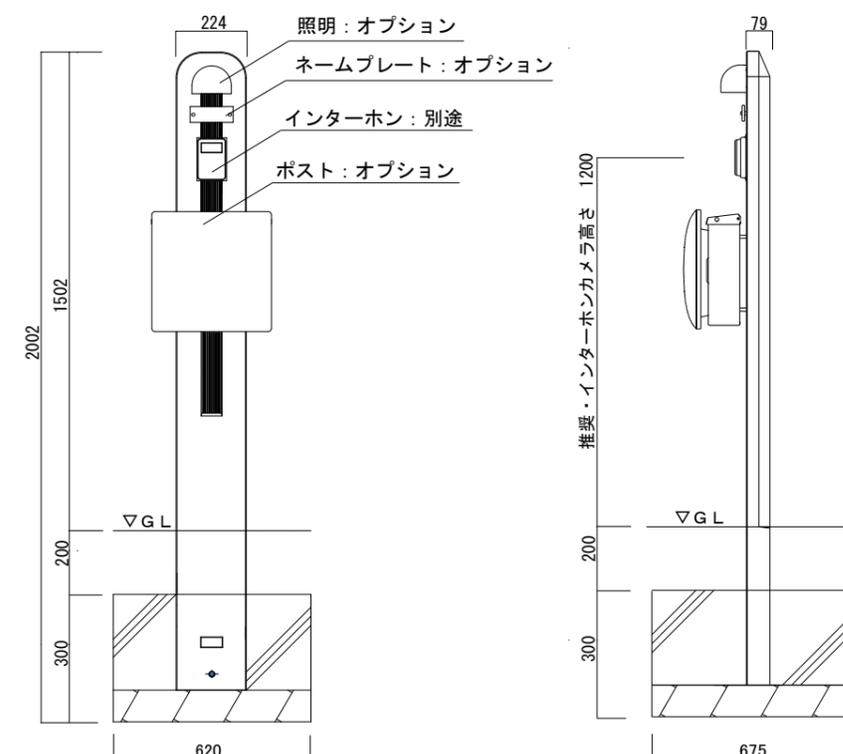
オプション品（照明・インターホン等）取付の為の穴明け加工の際、電動ドリルは振動機能の無いもの、もしくは振動機能をOFFにしてご使用ください。振動ドリルを使用しますと、キリ貫通裏部の破損・剥離、本体のクラック発生原因となる可能性があります。

※ 梱包が雨等で濡れると、ダンボールの色が付着する場合があります。シート等で養生をお願いいたします。

## 設計図

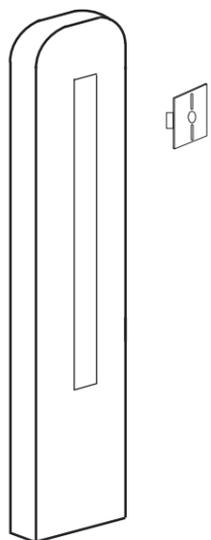
エレメントゲート220  
ガラスゲート220

GW-EG220□-△△  
GW-GG220□-△△



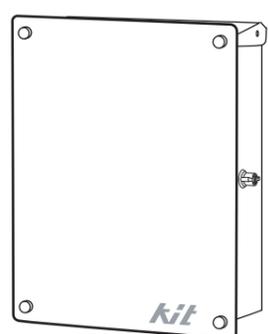
## 梱包内容

### 本体／インターホンプレート



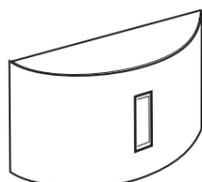
本体	1
インターホンプレート	1 (Pレスアンカー×2)
取扱説明書	1 (照明用PCプラグ・ビス同梱)
補修塗料	1

### ポスト (オプション品)

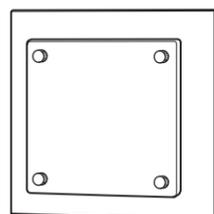


※ポストによって専用の  
ポスト取付けプレートが  
必要になる場合があります。

### 照明 (オプション品)



### 表札 (オプション品)

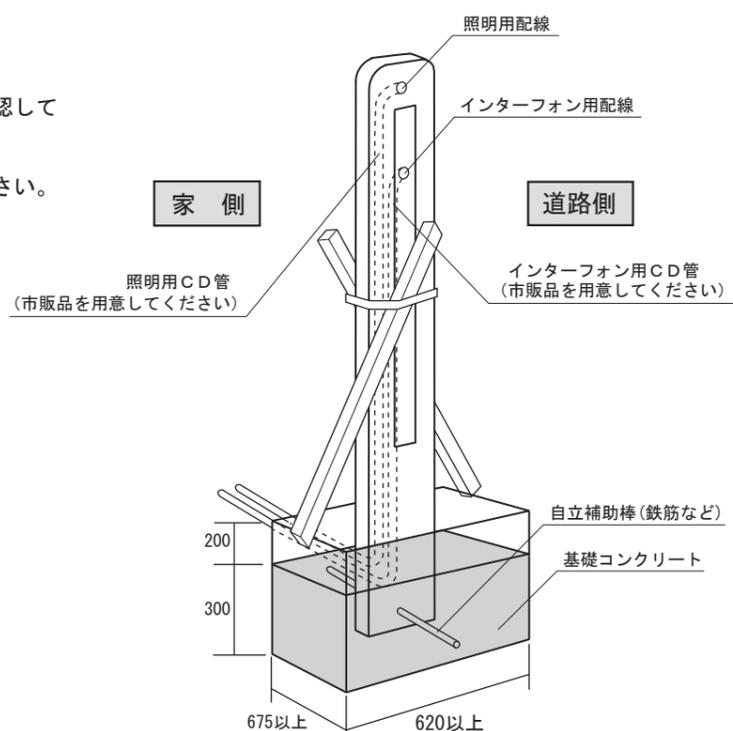


## 施工の手順

### 1 門柱の設置

1. 門柱を埋込み穴に設置し、向きを確認して仮固定してください。
2. 門柱を支え棒などで自立させてください。
3. 各種配線を露出しておいてください。
4. 寸法、門柱の水平・垂直を確認し、コンクリート打をしてください。

※ 配管線の先端は、室内側との  
接続まで地表に仮出ししてください。



### 2 インターホンの取り付け

※インターフォンは市販の露出型を別途ご購入ください。

1. 照明や表札を取付けるスペースを考慮し、インターフォン取付位置を図1を参考に決定してください。

※オーナメント裏側にインターフォン配線用の開口が設けてあります。

2. オーナメント及び紙管をカッター等にて切り取り、配線を通してください。

※右図位置以外の場所にインターホン配線を施工する場合、  
オーナメント及び、GRCに任意の寸法で加工してください。

3. 図2の様に付属のインターホンプレートに、CD管を通し露出させて下さい。

4. インターホンプレートとインターホン子機台座の位置を調整し、下穴を開けPレスアンカーで共締め固定してください。

5. 図3の様にインターホン子機台座を取り付けた後もCD管周り、インターホン子機台座内側を必ずシーリングしてください。

#### 【重要】

CD管、インターホンプレート周囲には、必ずシーリングを行い、門柱配管スペース内に水が入らない様に施工してください。

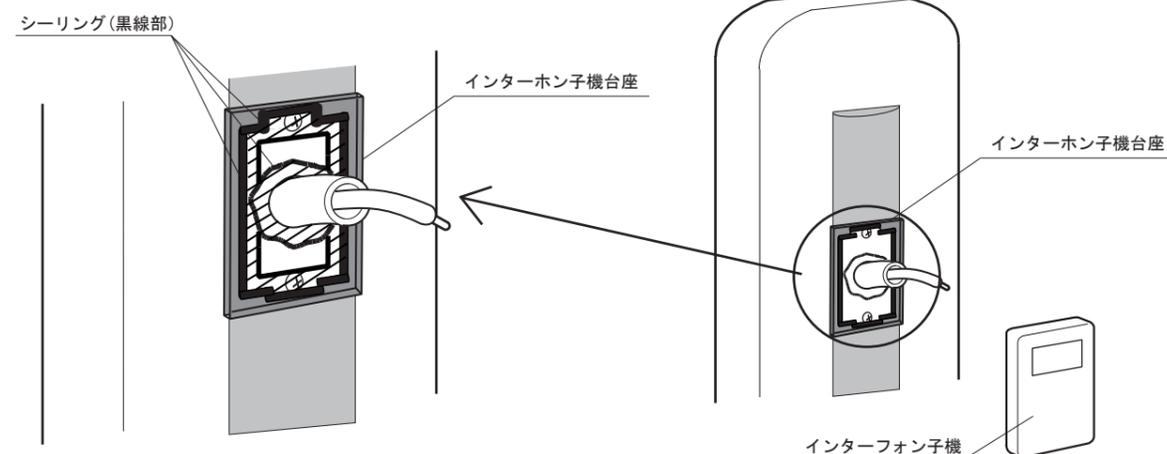


図 1

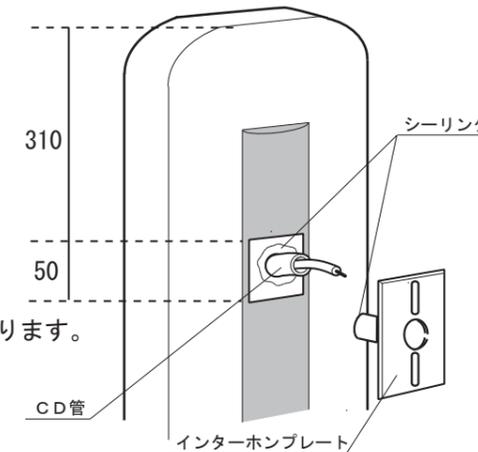


図 2

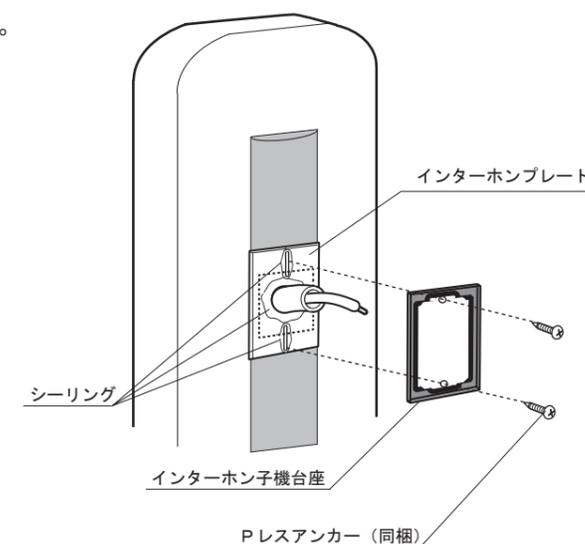


図 3